

2004年 6月県議会

六月県議会は、八日に開会し、二十五日まで十八日間開かれ、日本共産党岡山県議会は、武田英夫県議が一般質問に立ち、森脇ひさき県議が討論に立ちました。詳細は、ホームページをご覧ください。



苦田ダムの過剰な利水計画の抜本的見直しを

武田英夫県議が一般質問

武田県議は、全国各地で報償費などの不正支出による警察の裏金づくりが明るみになっているとして「報償費の根拠を県民に明らかにすべきだ」と質問。これに対して県警本部長は「県民の関心の高い内容であれば、可能な限り幅広く公表すべきである」として公開へ前向きな答弁をしました。

県警はこれまで、報償費支出の訓令について、市民オンブズマンなどの開示請求に対して、「警察の情報公開を決めた二〇〇二年四月以前の文書なので公開できない」としてきました。

武田県議は、岡山市医師会の封筒で、参院選挙の自民党候補のポスターなどが市内約四百三十の医療機関に送付されている問題を取りあげ、日本歯科医師会とその政治団体である歯科医師連盟による診療報酬改定をめぐる汚職事件もあり、「厚生労働省も今年四月、『公益法人の活動と政治団体の活動の峻別（しゅんべつ）』について』の通知をしている」として、市医師会への厳格な改善指導を求めました。

保健福祉部長は「確認したところ、岡山県医師連盟の岡山支部長から、市医師会の封筒を使用して医療機関あてに送付された」とのべ「改善指導を行

なったところ」と答弁しました。

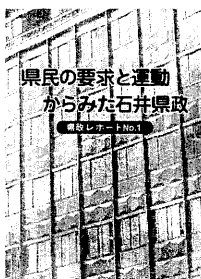
武田県議は、試験湛水のはじまった苦田ダムの過剰な利用計画について、自ら調査した岡山市、津山市の水道局がどちらも「苦田ダムのからの最大供給水量のすべてが現時点で必要ということではない」としていると述べ、「岡山市も五月中旬に基本水量の減量を申し入れている」と指摘。「不必要な水のための新たな負担は、岡山市は九億二千万円、津山市は一億三千万円で、市民負担に連動する可能性がある」と、計画の見直しを迫りました。

石井知事は、岡山市から県広域水道企業団に、受水量減量の申し入れがあったことを認め、企業長である本田副知事が、できないと即答したと報告を受けていることを明らかにしました。

秋の県知事選へ

民主県政をつくるみんなの会が県政レポートを発行

秋の県知事選挙にむけ、民主県政をつくるみんなの会と岡山県自治体問題研究所が共同で、県政レポート「県民の要求と運動からみた石井県政」No.1（A4版、四十一ページ、一冊四〇〇円）を発行しました。引き続き、No.2も準備中です。購入ご希望の方はご連絡下さい。



教育基本法早期「改正」意見書は「不採択」を

森脇ひさき県議が討論

討論に立った森脇県議は、エコタウン事業にともなって玉島人工島の一部を自動車リサイクル業者に売り渡す議案について、そもそも玉島人工島は、国際物流拠点をめざして造成されたものであり、当初の目的とは異なるエコタウン事業に対しては前倉敷市長も懸念を表明していたことを指摘し、「反対」を表明しました。

請願・陳情では、自治労県本部の「安心して暮らせる年金制度の確立を求める」請願と、県立内尾センター家族会と利用者の会による県立内尾センター廃止の検討にあたり利用者や家族会の代表を加えた検討委員会を早期に設置してほしいという請願・陳情を、いずれも「採択」

するよう主張しました。

最後に、自民党県議団発議の〇三年二月議会、同十二月議会に続く三度目の「教育基本法の早期改正を求める意見書（案）」に対し、内容は回を重ねるたびに悪くなっていることを指摘、県内では昨年十二月末までに十二市町村議会で「教育基本法改悪に反対する」もしくは「教育基本法を生かすことを求める」意見書が採択されているが、その理由には「教育の荒廃を基本法に求めるのは短絡的」「基本法の理念を学校や地域に生かすことが必要」などと記されており、県民の常識はここにあるとして、強く「反対」の意思を表明しました。

主な議案と請願・陳情の結果

【議案関係・議員発議】	共産	自民	民	県	公明	無	結果
玉島人工島の一部を自動車リサイクル業者に売り渡す議案	×	○	○	○	○	○	○
教育基本法の早期改正を求める意見書	×	○	○	×	×	○	○

※ ○賛成、×反対

【請願・陳情】	共産	自民	民	県	公明	社民	結果
第3次岡山県行財政改革大綱における「内尾センター廃止の検討」に関することについて（岡山県立内尾センター利用者の会、岡山県立内尾センター家族会）	○	×	○	○	×	×	×
少人数学級の早期実現を求めることについて（岡山県教職員組合）	○	×	○	○	×	×	×
岡山県地方労働委員会労働委員の「連合」独占選任をやめ、公正な任命を求める意見書提出を求めることについて（岡山県労働組合会議）	○	×	×	×	×	×	×
地方交付税・臨時財政対策債の大幅削減を行わないことを求める意見書の提出について（岡山県労働組合会議）	○	×	×	×	×	×	×

※ ○採択、×不採択

質問項目

- ①有事関連法案への知事の見解について
- ②「石井県政の8年間は県民の目線からみてどうだったのか」に関して
 - 医療、福祉、教育について
 - ①在宅医療療養施設患者への救済措置の問題について
 - ②乳幼児医療費公費負担補助制度に関して
 - ③「難病相談」支援センターの問題
 - ④子どもの権利条約に関連して
 - ⑤県立高等学校授業料の滞納者に対する措置について
 - 無駄な公共事業の見直し……苦田ダム・広域水道企業団問題
- ③県政の公正さと透明性に関して
 - ①公益法人「岡山県医師会」「岡山県歯科医師会」への県の指導の問題
 - ②警察行政に関して
- ④環境問題
 - ①岡山県景観条例に関して、後楽園の景観保全について
 - ②希少野生動植物の保護に関する問題について

日本共産党 岡山県議会報告

2004年7月18日 No. 5 FAX(086)231-2187
日本共産党岡山県議会議員団 ☎(086)224-2111(内線 4056)
〒700-8570 岡山市内山下2丁目4-6 岡山県議会内
ホームページ <http://www.jcp-okayama-kengidan.jp>
E-mail: kyosan@pref.okayama.jp



新県立図書館の9月開館にあたり 図書館行政の充実を

文教委員会

九月には新県立図書館開館が予定されています。
私は五月六日の文教委員会で、新図書館開館を期に県として市町村図書館に対する図書館振興策を策定するなど図書館行政の充実を求めました。また、図書館未設置の解消について、市町村合併に伴って、名目設置率は増えるが、図書館未設置の旧町村

に分館建設の推進や、合併に伴って水準の低下が起らないよう求めました。
国は「公立図書館の設置運営上の望ましい基準」（二〇〇一年）のなかで県立図書館の大切な役割を示しています。また、図書館協会による〇一年の調査によると、滋賀県や大分県、鳥取県など八県が市町村図書館に対する図書館振興策を策定しており、

分館建設の推進や、合併に伴って水準の低下が起らないよう求めました。
国は「公立図書館の設置運営上の望ましい基準」（二〇〇一年）のなかで県立図書館の大切な役割を示しています。また、図書館協会による〇一年の調査によると、滋賀県や大分県、鳥取県など八県が市町村図書館に対する図書館振興策を策定しており、

書基準もなく市町村への財政援助もないなど図書館行政は大変遅れています。
県として市町村援助として、設置間もないなど蔵書数が少ない図書館や公民館に對しての支援図書を八万冊に増やす予定であり、インターネット利用で、最寄の市町村図書館で受け取ることのできるサービスを実施することを明らかにしました。

十二県が図書館建設費や資料購入費など何らかの補助施策をしています。これまでに岡山県は蔵書数で見ても全国最低クラスでした。県の振興策は未策定であり蔵

2004年7～9月の議会日程（予定）

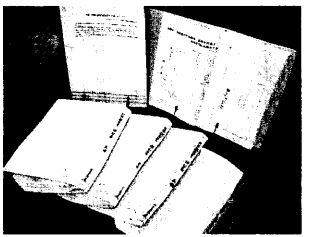
委員会の積極的な視聴を

7月15日(火)	各常任委員会	10時30分～	全員
7月26日(月)	各常任委員会	10時30分～	全員
8月12日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員
8月26日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員
8月27日(金)	決算特別委員会	10時30分～	森脇
	地域振興特別委員会	13時～	
	環境対策・食の安全特別委員会	13時～	
	青少年対策・男女共同参画特別委員会	10時30分～	赤坂
8月30日(月)	行政改革・国体等特別委員会	10時30分～	武田
	議会運営委員会	10時30分～	武田
9月22日(水)	決算特別委員会	10時30分～	森脇
	地域振興特別委員会	13時～	
	環境対策・食の安全特別委員会	13時～	
	青少年対策・男女共同参画特別委員会	10時30分～	赤坂
9月24日(金)	行政改革・国体等特別委員会	10時30分～	武田
	各常任委員会	10時30分～	全員
9月28日(火)	議会運営委員会	10時30分～	武田

9月定例会議は、9月6日開会、29日開会の予定。
代表質問は9・10日、一般質問は15・16・17日の予定。
日本共産党からは、森脇ひさき県議と赤坂てる子県議が一般質問、武田英夫県議が討論に立つ予定です。

政務調査費 開示3年目 全面開示は共産党のみ

政務調査費（収支報告書）「A4用紙一枚」の公開が三年目を迎えました。今回も全面（会計帳簿と領収書まで）公開はわが党のみです。一人年間四二〇万円です。議員一人々々の良識と清潔さが問われています。



参院選での支援、

ありがとうございました

先の参院選挙で、わが党は、比例代表では目標としていた五議席確保はなりませんでしたが、四議席を得ることができ、仁比そうへい候補は初当選を果たすことができました。岡山選挙区の植本かんじ候補の得票は四七、八八八票（得票率五・三五％）でした。
今回の選挙結果を真摯に受け止め、掲げた公約の実現のために全力をあげるとともに、草の根での国民のみなさんとの結びつきを広げ、次の国政選挙では必ず大きな前進を勝ち取るためにいっそうがんばる決意です。



比例代表 仁比そうへいさん 議席を獲得

赤坂てる子県議

7月5日 ガス化溶融炉建設に係る旧川崎製鉄の入札妨害・工事代金水増疑惑で申し入れ

今日五日、ガス化溶融炉建設に係わる旧川崎製鉄の入札妨害・工事代金水増し疑惑について県知事に申し入れをおこないました。
この疑惑とは、旧川崎製鉄（現JFE）が、約十八億円を所得隠しで生み出し、倉敷市の一般廃棄物処理（ガス化溶融炉）など、全国三カ所のごみ処理施設の「地元対策」に使ったというものです。
倉敷市のガス化溶融炉は来年四月稼働予定で建設がすすんでいますが、PFI方式で建設・運営を請け負う水島エコワークス（株）の最大の出資者は旧川崎製鉄（出資率三十八％）であり、わが党の反対にもかかわらず岡山県も二億三千万円（資本比率十％）を出資しています。県は最初からこの建設計画に直接関与、推奨してきたことから、申し入れは「水島エコワークス（株）を通じ、旧川崎製鉄（現JFE）に対して入札妨害・工事代金水増し問題に関する報告を求め、事実関係の正確な把握に努めること」と。などを求められています。

5月21日 県民要求実現へ対政府交渉

17省庁へ27項目

五月二十一日、林紀子参院議員とともに政府交渉をおこないました。要望は、▼在宅酸素療法患者の医療費負担軽減や▼乳幼児医療費無料化、▼少人数学級の実現、▼足守川バイパスラインの中止など、これまで住民運動や地方議会できたりくんできたもの、▼生活保護高齢加算の廃止、▼小規模作業所など障害者施設補助金や公立保育園運営補助金の削減など「三位一体の改革」のもとで、国民生活に大きな影響を及ぼしている施策の見直しを求めるものなど、七省庁への二十七項目にのぼりました。

「おかやま若者就業支援センター」を視察 5月28日

「若者に仕事を」の運動の先頭に立っている民主青年同盟岡山県委員会（石村智子委員長）の青年たちと一緒に勉強しました。この施設は、▼ハローワークに隣接している、▼担当のカウンセラーが就職できるまで支援する、▼平日の夜と土曜日も利用できるなど、新しい特徴を持っています。

